



農家レストラン まほろば畑

営業日のお知らせ (8月分)

火曜日限定で、道の駅南国「風良里」2階にて、南国市内で活動する女性達が農家レストラン「まほろば畑」を営業しています。南国市の食材を使った、アイデアいっぱいの、安心安全な料理やデザート、バイキング形式で提供しています。生産者の顔がみえる、あったか♡ほんわか農家レストランへご来店ください。

営業時間 10:50~14:10
入店時間 (各60分間の総入れ替え方式)
①10:50 ②12:00 ③13:10

料金
大人 (中学生以上) 1,000円
小学生 700円
3歳以上小学生未満 300円
幼児 無料

当日は10:30より各時間帯のお食事券を購入できます。ご予約も1名様から承っております。各営業日の前日までご連絡ください。(※受付は平日のみ)

混雑時は、ご予約いただいたお客様にも相席をお願いする場合がございます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

■予約・問い合わせ/農林水産課 ☎880-6559

8月	7日	高校生レストラン
	14日	休み(風良里営業日)
	21日	休み(まほろば畑休業日)
	28日	味彩グループ

8月7日の高校生レストランは完全予約制の各回先着60名様限定で、受付を終了しました。ありがとうございました。

「今日は火曜日!まほろば畑に行きたい!でも席の状況がわからない・・・」となった場合、下記連絡先へお気軽にお問い合わせください。

☆まほろば畑 当日専用電話☆
TEL: 080-2975-9925
※当日以外はつながりませんのでご注意ください。

親子クイズ 555

Q ①「肝試し」、②「花火」、③「かき氷」、④「夏休み」、⑤「宿題」、⑥「金魚すくい」をそれぞれ英語で表現するとき、アルファベットが4文字同じ順番で含まれるものは、どれとどれでしょうか?

例: ①野球選手 baseball players
②マラソン marathon
③卓上遊び Tabletop play

例題答え: ①野球選手と③卓上遊び

【第554回解答】

18 cm²

【第554回当選者】

高橋 崇之 (大浦甲)
大峯 和巳 (岡豊町)
大原 美穂 (領石)
西村 仁志 (緑ヶ丘)
松村 ちえ (高知市)

■応募締切/8月10日(金)必着
■あて先/〒783-8501
南国市大浦甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数/35通 ★正解率/91%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り (親子クイズ) 1人で考え、母に教えてあげました。姉からは新しい解き方が出ました。

市民からのお便り (親子クイズ) 前回(第553回)の問題はわかりませんでした。答えを見て「アッ」と思いました。

絵金こと絵師金蔵は文化9(1812)年に高知城下の新市町の髪結業木下家に生まれました。少年の頃から絵を好み、土佐藩御用絵師池添楊斎の弟子となりました。文政12(1829)年18才の頃、江戸に上り、駿河台の狩野洞益について修行するかたわら、前村洞和に入門しました。3年後に帰郷して家老桐間家の御用絵師に抜擢され、名字帯刀を許され、林洞意と名乗りました。

絵金33歳の頃、古物商の依頼により狩野探幽の模写を描きましたが、これに探幽の落款が押され、贋作を制作した罪に問われてお城下追放となったと言われています。以来一介の町絵師金蔵となつて、後免や赤岡等各地を転々としながら、神社の絵馬や台提灯、さらに芝居絵・屏風・風行燈などに、原色の泥絵具を使ってダイナミックな人物を描いてきました。

残虐で衝動的でありつつ、一筆一筆に生命が躍動する作品を残しています。明治6(1873)年、中風症にかかり明治9年に65才で没しました。葬儀は南国市田村の本正寺で行われました。

絵金といえば赤岡の絵金祭りが有

なんこく歴史散歩 第67回

絵金と芝居絵屏風

名ですが、各地の祭礼にも今も根付いて夏の夜を彩っています。南国市では、久礼田の熊野神社や稲生の河泊神社などで芝居絵屏風が飾られます。特に、片山天満宮では毎年7月20日の祭礼で拝殿に展示しており、数多くの作品が一堂に並ぶ光景は見ごたえがあります。



片山天満宮の芝居絵屏風



問い合わせ
生涯学習課文化財係
☎802-6062

みなさんは学校のトイレにどんなイメージを持っていますか。「学校のトイレは『汚い・臭い・暗い』の3K」(文部科学省)で、あまり近づきたくない場所になっているのではないのでしょうか。実際、排泄行為自体を恥ずかしいと感じて無理に我慢したり、からかわれるのが嫌でトイレにいけないようになったりするなど、子どもの健康面や精神面で無視できない問題が出てきています。そういったことから、改善や快適化が進んでいる家庭や公共の場のトイレとは異なり、学校のトイレはその多くが、時代の流れに取り残された空間として存在していると言えそうです。

学校のトイレについて調べてみると、文部科学省が、平成23年度にトイレ改善の取組事例集を作成し、トイレを含めた学校の施設全般の、環境の向上や機能の改善に向けた取組を促していました。この事例集には、トイレ改修は、単に排泄の場所として、汚い・臭い等の問題を改善するだけでなく、学校という教育・生活の場全体の環境向上を図るものとして、改修の具体的な取組が紹介されています。また、トイレの改修の機会を「きれいになったトイレを大切に使うこと、モノを大切にすることを学ぶ」次に使う人のことを考え、マ

学校のトイレ

ナリを身に付ける「清掃の大切さを知る」特に小学校低学年において、食事と排泄の関係や排せつの大切さを学習し、排泄行為が恥ずかしいことではないという意識を育てるなどの学習の機会にすることも有効であるとしています。

さらに、改修後の学校の声もいくつか報告されています。なかでも「明るいトイレになったことで生活面での落ち着きが見られるようになった」という声は、トイレ改修により、どの学校も目指すべきことだといえるのではないのでしょうか。

学校の「汚い・臭い・暗い」トイレが、明るく、快適な空間に変わる。そうなるには予算面など、クリアしなければならぬ問題がまだまだあります。トイレが変われば子どもたちの心も育ち、子どもたちが安心して学校生活を送れる。事例集を読み、そう確信しました。みなさんは学校のトイレ改修について、どう思われますか。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880-6569

ふれあいしながこて 88 人権学習シリーズ